

サウンディング市場調査に関する質疑への回答

No.	質疑内容	本市の回答
1	施設ごとの電力の30分値データ(過去1年間実績)を提供していただけますか。	電力の30分値データは、施設を指定していただければ提供させていただきます。ただし、指定管理施設等については時間を要する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
2	屋根形状(折半屋根、陸屋根、スレートなど)等の情報を提供していただけますか。	市では施設の屋根形状を一元的に把握できておりません。そのため、お手数をおかけいたしますが、事業者様におきまして、資料4のKML データを活用していただき、地理情報システム(GIS)等の空撮データで屋根形状を確認していただくようお願いします。
3	対象施設一覧表の各施設の契約電力と電力会社契約先を教えてください。	各施設の契約状況について、事務局で把握している範囲で提供いたします。
4	現在 EV など充電インフラ設備の導入状況と今後の計画について教えてください。	取手庁舎で EV 用6Kw 普通充電 1 台、3Kw 普通充電器1台。藤代庁舎で EV 用3Kw 普通充電器1台を設置済みです。現時点で、増設の予定はありません。
5	対象施設以外で太陽光が設置可能な空き地や調整池の場所を教えてください。	空き地については、個別にデータを提供します。また調整池については、一覧表及び位置データ(KML)をホームページに公表しました。
6	施設の平面図・矩計図・単線結線図・電力デマンドデータを提供していただけますか。	データ提供できるものについては準備いたします。一方で電子化されていない図面等につきましては、現地で閲覧していただくようお願いします。
7	省エネを目的とした監視設備(電気見える化や空調などの制御)の導入している施設とシステム内容について教えてください。	デマンドコントローラーを設置している施設について情報を提供させていただきます。

8	使用していない学校施設プールに設備導入を検討する場合、防災時の生活水や消防側との取決めや設置条件などはありますか。	防災時の生活水や消防側との取決めや設置条件などは特にありません。
9	学校施設建屋への太陽光導入をした際、懸念する事項はありますか。	既存校舎への設置については、耐荷重や改修時の施工方法への影響が懸念されます。
10	ファイナンスのスキームにおいて、採用するポイントはございますか。	導入手法の選択におきましては、設置前の電気料金と比較して、設置費用、設置後の電気料金及び維持管理経費などのランニングコストのバランスがポイントになるのではないかと考えています。また、防水改修が未実施の建物の屋上や屋根に設置する場合は、改修工事の実施手法などもポイントになるのではないかと考えています。
11	対象補助金の目星はございますか。	国庫補助の活用も想定していますが、現時点で想定している補助金はありません。事業ごとに活用可能な補助金のご提案をいただきたいと考えております。
12	導入目標の有無について (一覧記載の施設の一定数への導入、事業期間、最低導入発電電力量 etc)	公共施設への再生可能エネルギーに関する導入目標は設定していません。
13	本事業を行うために既に連携を行っている事業者の有無(電力小売業者等)について	連携している事業者はありません。
14	太陽光発電設備導入のため既に実施頂いた事項の内容(概算設計、対象設備選定等)	令和5年度に茨城県で実施した「再生可能エネルギー導入可能性調査～地産地消モデル地域県等の考え方～」で本市を対象に導入可能性調査をしていただいています。 調査結果は茨城県のホームページで公開されています。 詳しくは、ホームページのリンクを参照してください。

15	対象施設の構造計算書の有無について	市では施設の構造計算書の有無を一元的に把握できておりません。施設を指定していただければ施設管理担当課に確認させていただきます。
16	不可抗力のリスク負担についてご意見をお聞かせください。	太陽光発電設備設置における不可抗力へのリスク負担については、現時点では市で検討されていません。当調査を通じて、事業者からのご意見を伺い、方針を検討していきたいと考えています。
17	余剰電力の取り扱いにおける重要性についてご意見をお聞かせください。	余剰電力については、蓄電池による夜間活用、または市域内の公共施設へ融通することが望ましいと考えています。費用負担とその効果について事業ごとに検討する必要があると考えています。